

簡易水洗便器 クリーンフラッシュ

FA-5 FA-4
FA-5T FA-4T

FA-3

施工説明書

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に、必ず、この説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

用語および記号の説明

- ⚠ **警告** 守らないと、重傷を負うことがあります。
- ⚠ **注意** 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。
- ⊘ 「禁止」「してはいけません。」
- ⚠ 「遵守」「指示通りしてください。」
- ⊘ 「風呂、シャワーなどの水場での使用禁止」

⚠ 警告

浴室内の水のかかる場所や表面に水滴が生じるような湿気が多い場所では、暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気器具は設置しないでください。

火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

便器の汚水配管は、必ず便槽に接続ください。

簡易水洗便器は、便槽に接続する便器です。

この施工説明書以外の改造はしないでください。

故障や漏水の原因となります。

施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。

漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

給水管の接続の際、ボールタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。

給水管の袋ナットを締め付けるとき、ボールタップが共回りして浮玉がタンク壁に当り動かなくなると、水が出放しとなります。万一、オーバーフローしきれないときは、家財を濡らす原因となります。

オーバーフロー用排水管は、便槽に接続しないでください。

便器が故障して、給水が止まらないとき便槽があふれる恐れがあります。

オーバーフロー用排水管は、塩ビ管VU40またはVP30で必ず配管してください。

オーバーフロー用排水管内径が20mmより小さいと、便器が故障して給水が止まらないとき排水しきれず、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

陶器は割れものです。施工前に運送破損の確認と施工時の破損がないかを点検してください。

破損部でケガをしたり、漏して家財を濡らす原因となります。

床に便器を埋め込まないでください。

修理できなくなります。本水洗切替ができなくなります。

止水栓からロータンのボールタップまでの給水管は、揺らしても漏水がないよう確実に配管してください。特に、アングル止水栓で配管されるとき、給水L管(サブライ管)のツバのない止水栓側の接続には注意してください。

直圧がかかっている水道配管のため、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。また、給水L管の止水栓側の差込が少なく配管が抜け、家財を濡らす原因となります。

便器設置部の床面は水平にしてください。

便器が傾くと、オーバーフローが排水しきれず、床に漏水し、家財を濡らす原因となります。

凍結の恐れのあるときは、注意してください。

凍結防止ヒーターの利用、ロータンの水抜き、室内暖房など適切な処理を行ってください。

電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。

資格のない人が電気工事をするのは法的に認められていません。

施工の前に

■ 梱包内容をお確かめください



■ 必要な工具、別途必要なもの

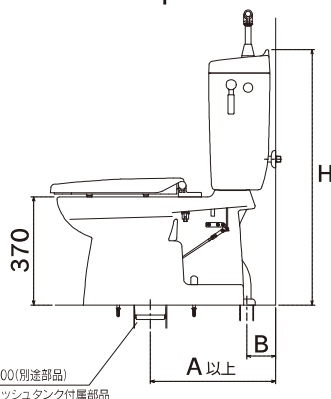
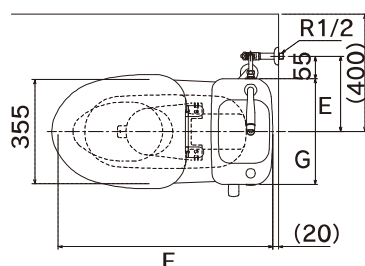
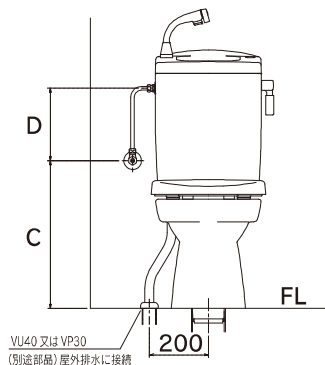
工 具		
(+)ドライバー又は電動ドライバー 床フランジ取付木ねじ締め付け用	(-)ドライバー 止水栓の開閉	ノコギリ 既設の床フランジ取り外し用
プライヤー又はペンチ又はラジオペンチ ロッド接続の割りピン曲げに使用	スパナ(13)又は自在スパナ(モンキーレンチ) スタッドボルトのナット締め付け用	スパナ(13)
コンクリート用ドリル(8 ^号)、電気ドリル 床がコンクリートやタイルでカールプラグを使用する場合	カッターナイフ又はニッパ 継ギタシ管の切断用	
スパナ(24)又は自在スパナ(モンキーレンチ) フレキシブル管などの袋ナット締め付け用 手洗付きの場合、手洗吐水栓の取り付け用	スパナ(27)又は自在スパナ(モンキーレンチ) 右給水にすると、ボールタップ締め付け用	スパナ(24)
コーキング剤(シリコンシーラント) 床フランジと導入管のコーキング用	塩ビ用接着剤 接続パイプを使用する場合 既設のオーバーフロー排水管用 塩ビパイプVP20やVP25(※1)のとき使います。VP30やVU40(※1)のときは使えません。	コーキング剤
シールテープ 水道管と止水栓の接続用	塩ビパイプ VU40又はVP30、エルボ オーバーフロー排水管用	シールテープ
アングル止水栓又は止水栓とフレキシブル管 トイレの元栓	ペーパーホルダー	アングル止水栓

温水洗浄便座、暖房便座、凍結防止ヒーター等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。

■ 寸法図

	A	B	C	D	E	F	G	H
FZ500 FZ50T	460	100	500	245	257	760	360	875
FZ400 FZ40T	430	100	500	245	257	730	360	875
FZ300	410	80	400	260	274	712	380	795

FA-5・FA-5TはFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400
FA-3はFZ300を参照してください。



■ 標準施工図

■ 便槽の容量

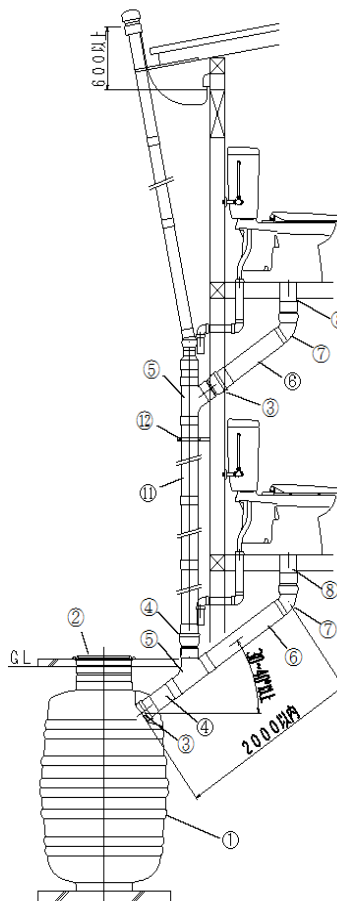
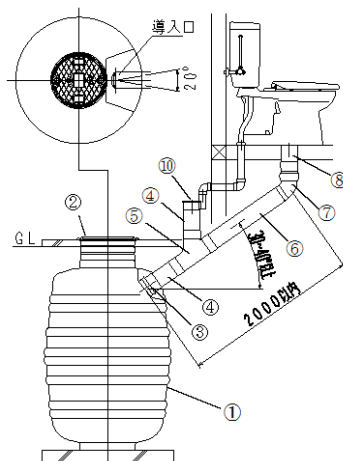
1人1ヶ月で約100～150㍓でご計画ください。
但し、来客や家族数が増えることや先で洗浄便座を取り付けることを考えて少し大きめのものをご使用ください。

最低でも500㍓以上の容量のものをご使用ください。

NV-R便槽配管部品一覧

番号	品名	品番	1階専用	1・2階1穴用
①	槽本体		1	1
②	マンホール (標準) 340ロック式/マーク	BM340VR	1	1
③	導入自在ソケット107 (R用)	B31403R	(1)	2+(1)
④	導入短管S付L22	BUS100*22	2	2
⑤	導入チーズ (R用)	B31104R	1	2
⑥	導入管L65	BU100*65	1	2
⑦	VU自在エルボ (R用)	B31302R	1	2
⑧	導入短管L30	BU100*30	1	2
⑨	導入管L100	BU100*100		
⑩	導入口キャップR114	B32106	1	1
⑪	導入管S付L100	BUS100*100		3
⑫	振れ止め金具114	B32903R		1
⑬	短管VU100L5	BU100*5		2

導入自在ソケット107 (R用)の(1)は、本体取付け出荷



■ 配管上の注意事項

●配管材料は、JIS K6741 に準じた硬質塩化ビニル管 (塩ビ管) を使用してください。

肉厚：導入管・導入短管・・・2mm以上 (ブロー品継手類1.6mm以上)

臭突管・・・1.5mm以上 (ブロー成形品継手類1.2mm以上)

●導入管・導入短管は、VU100を使用してください。

また、それに使用する継手は、汚水の流下に支障のない形状、構造を有するものを使用してください。

段差で汚物が引っ掛かるような継手は使用しないでください。

横引きの導入管途中には、絶対にエルボを使用しないでください。

●臭突管

次の場合は必ず臭突を設置してください。

①2階配管など汚水管の長さが1.5m以上の場合

②小便器を設置する場合

臭突管の先端には、排気トップ (臭突ファン等) を設けてください。

排気トップは、防臭機能に支障のきたさない性能のものを使用してください。

排気トップの下端は、建物の出入り口、窓、換気口等の上端から600mm以上の高さに取り付けてください。

配管の接合部は確実に接着し、十分な耐久性と気密性を確保してください。

●配管工事後、約10㍓の水を流して配管接合部からの漏水がないか確認してください。

●水道配管

水道配管工事は、各自治体水道局の指定店で行ってください。

使用水道圧範囲：0.05MPa～0.75MPaの範囲で使用してください。

●水道配管はしっかりと固定してください。水撃作用 (ウォーターハンマー) の原因となります。

●2階以上や地下室のある1階に設置する場合、万一のことを考えてトイレルームの防水や床に排水口の設置をお勧めします。

●オーバーフロー屋外配管からの臭気上りについて

(製造物責任法を考慮した注意書きについて)

オーバーフロー配管は、必ず屋外まで行ってください。また、配管にトラップを設ける等の防臭対策をしてください。但し、凍結の恐れのある場所ではトラップ内の水やオーバーフロー管先端の凍結に十分注意して施工してください。オーバーフロー配管は絶対に便槽に接続しないでください。便槽がふれる恐れがあります。

■ 施工手順の流れ

施工の種類によって下記の施工手順の流れに沿って施工してください。

既設の洋式簡易水洗便器を取り替え
導入短管の位置がそのまま施工できる場合

1 ▶ 2-1 ▶ 3 ▶ 4 ▶ ...

既設の洋式簡易水洗便器を取り替え
導入短管の位置が合わない場合

1 ▶ 2-2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ ...

新築や増築で新たに配管する場合

2-3 ▶ 3 ▶ 4 ▶ ...

既設の和式簡易水洗便器を取り替える場合

1 ▶ 2-4 ▶ 3 ▶ 4 ▶ ...

既設の洋式非水洗便器を取り替える場合

1 ▶ 2-5 ▶ 3 ▶ 4 ▶ ...

既設の和式非水洗便器を取り替える場合

1 ▶ 2-6 ▶ 3 ▶ 4 ▶ ...

施工の手順

1 既設便器の撤去 洋式便器のリフォームの場合

リフォームの場合、既設便器を取り外してください。



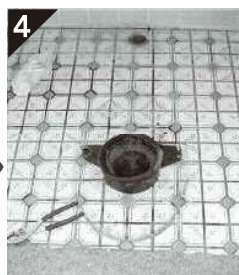
1 止水栓を止めてください。



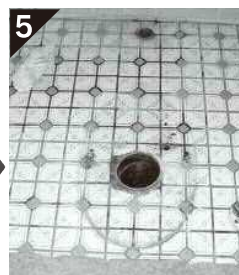
2 便座とタンクフタを外してください。
ロータングの水を抜いてください。



3 給水管を外し、ロータングを外してください。
プラスチック製のロータングは
取り外さなくても作業できます。



4 便器を外してください。



5 床フランジを外してください。

床フランジの取り外し方

既設便器の床フランジが接着されていてそのまま取り外せないとき、次の方法で外してください。

① マイナスドライバーやバールを床フランジと床の間に差し込んで床フランジを持ち上げるようにこねてください。
それでも、外れないときは、ハンマーで回転方向に叩いて外してください。



② 塩ビ管内径カッター（インナーカッター）をお持ちの方は、塩ビ管の内側から床フランジを床面で切断してください。
塩ビ管の内側に残った部分は、④の手順で取り除いてください。

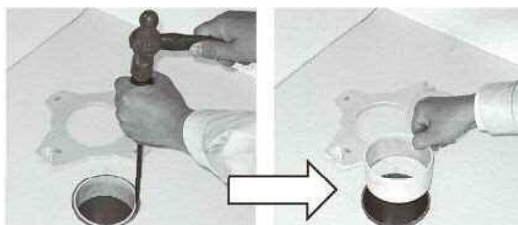


①で外れない又は②をお持ちでない方は、以下の手順で行ってください。

③ 機種やメーカーによって取り外し方が異なります。横からノコギリで床フランジを切断します。

クリーンフラッシュ F2・F5 他社品	クリーンフラッシュ F18・FX30・FX40・EX-F16・FX116・ FX200・FX170・E16X・F8DG・F8CAG	クリーンフラッシュ F15・F16・F8・F8C・旧F18・ 旧EX-F16
マイナスドライバーを床フランジの下に入れ、持ち上げるようにして切断します。 (注意) 床をキズ付けないように注意してください。		
		

④ 塩ビ管 (VU100) の内側にある残材をマイナスドライバーとハンマーで取り外します。



外れない時は、縦にノコギリで切れ目を数箇所入れて外してください。
(注意) 塩ビ管まで切らないように注意してください。



塩ビ管が欠けたり割れたりした場合、漏水や臭気漏れしないように補修してください。

⑤ 新しい床フランジにシリコンシーラントを塗布して取り付けしてください。塗布量は、太さ5～10ミリ程度

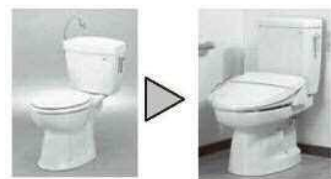


※既設の便器が和式の場合、2-4又は2-6から行ってください。

2 導入短管の位置決め 該当する手順に沿って施工してください。

2-1 既設の洋式簡易水洗便器を取り替え 導入短管の位置がそのまま施工できる場合

導入短管立上り位置を確認してください。



FZ500・FZ50T	FZ400・FZ40T	FZ300

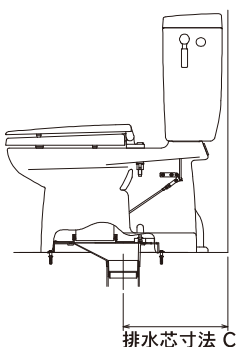
FA-5・FA-5TはFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400、FA-3はFZ300を参照してください。

2-2 既設の洋式簡易水洗便器を取り替え 導入短管の位置が合わない場合

①②のいずれかを選定してください。

①壁から導入短管立上り中心までの寸法(排水芯寸法C)が合わないとき、オプション部品の「改造フランジ」を使うと導入短管立上り位置をそのまま施工できます。

②便槽からの導入管(横引き管VU100)をカットし延長してください。



排水芯寸法C (壁から導入短管中心までの寸法)				
床フランジの種類	偏芯寸法	FZ500・FZ50T	FZ400・FZ40T	FZ300
標準フランジ	0	460以上	430以上	410以上
改造フランジ13 APH-Z80	10	450以上	420以上	400以上
	30	430以上	400以上	380以上
改造フランジ13 (反転して使用)	-30	490以上	460以上	440以上
	-50	510以上	480以上	460以上
改造フランジ579 APH-Z81	50	410以上	380以上	360以上
	70	390以上	360以上	340以上
	90	370以上	340以上	320以上

標準フランジは、同梱しています。
改造フランジは、別売です。

FA-5・FA-5TはFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400
FA-3はFZ300を参照してください。



例 1) 既設の排水芯寸法が 400mm の場合

○FZ500 を設置するには、改造フランジ 579 を使って 70mm 偏芯させて取り付けます。

○FZ400 を設置するには、改造フランジ 13 を使って 30mm 偏芯させて取り付けます。

○FZ300 を設置するには、改造フランジ 13 を使って 10mm 偏芯させて取り付けます。

例 2) 既設の排水芯寸法が 500mm、そのまま便器を設置するとロータンクと壁との間が大きく開き、手前が狭くなる場合、

○FZ500 を設置するには、改造フランジ 13 を反転して使用し -30mm 偏芯させて取り付けます。

○FZ400 を設置するには、改造フランジ 13 を反転して使用し -50mm 偏芯させて取り付けます。

注) 1. 改造フランジをご使用になった場合、本水洗への切替を行う際には配管位置変更の工事が必要になります。

2. 改造フランジ 579 は、反転できません。

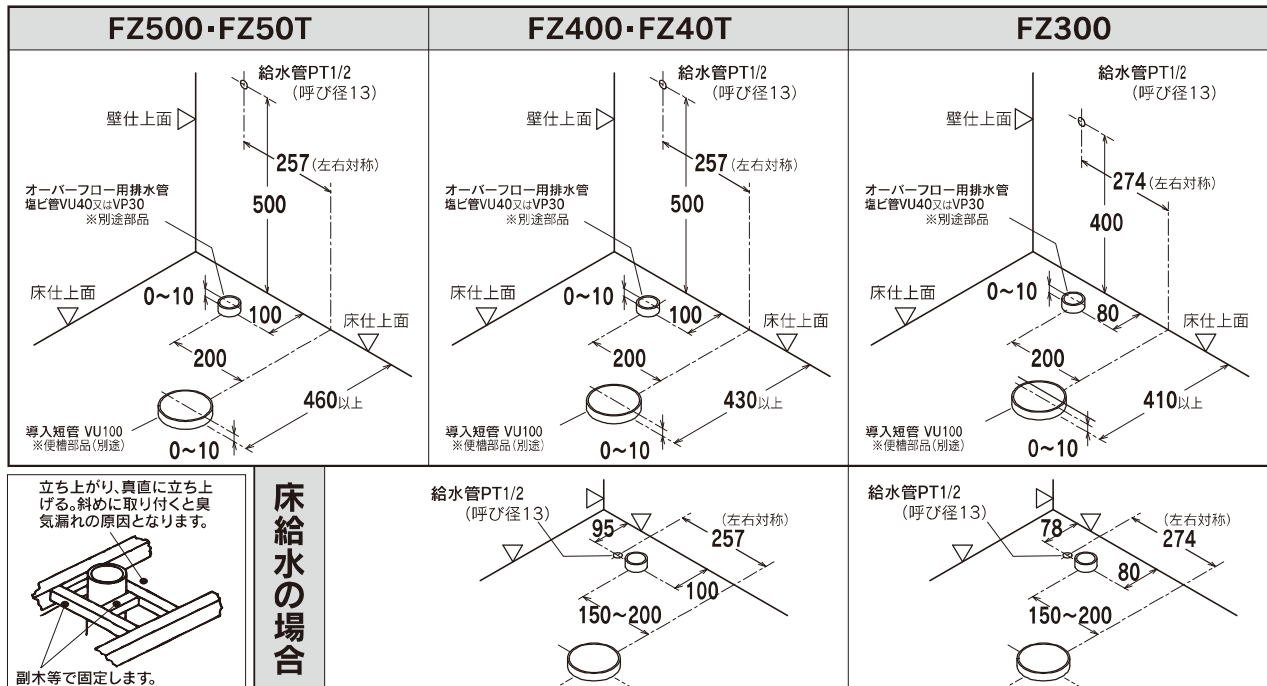
3. 改造フランジ 579 をコンクリート床に使用する場合、床をはつる必要があります。詳しくは 8 ページをお読みください。

標準フランジ	改造フランジ13 APH-Z80	改造フランジ579 APH-Z81

2-3 新築や増築で新たに配管する場合

導入短管・オーバーフロー排水管・給水管の位置を決めて配管してください。

FA-5・FA-5TはFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400
FA-3はFZ300を参照してください。



2-4 既設の和式簡易水洗便器を取り替える場合

下記の手順で施工を行ってください。

1. 既設便器の撤去

- ① 給水管を取り外してください。
- ② ローターの水を抜いてください。
- ③ 洗浄管を取り外してください。
- ④ ローターを取り外してください。
- ⑤ 便器を取り外してください。

2. 床と腰壁の撤去

- ① 床と腰壁を撤去してください。
- ② 施工枠のフランジと導入短管の接続を外してください。
- ③ 施工枠を取り外してください。

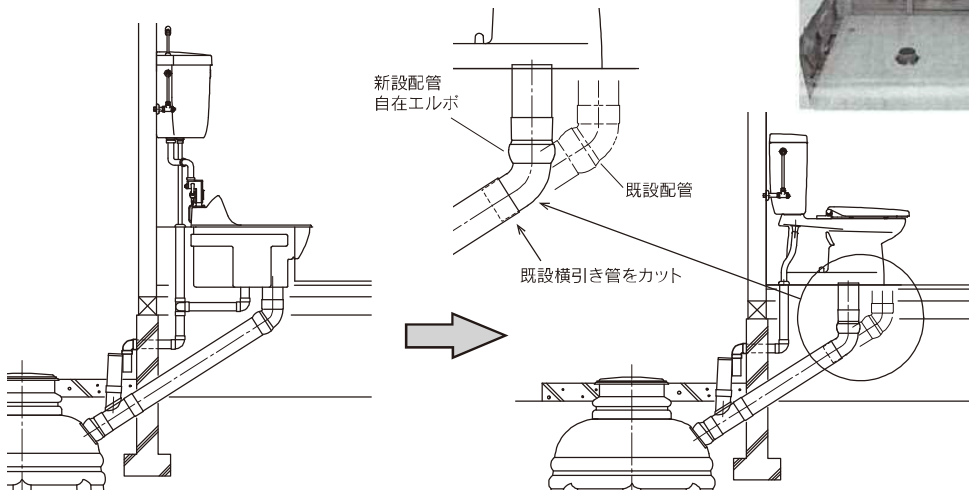
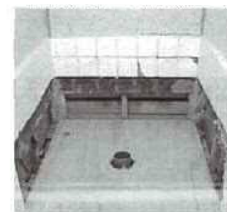


3. 配管工事

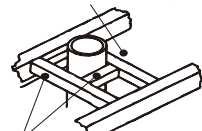
- ① 導入短管の立上り位置と高さを確認してください。
 - ・壁から導入短管中心位置 (排水芯寸法) の確認
 - 排水芯寸法に合わせて横引き管をカットし立上げ直してください。
 - ・床仕上面からの導入短管立上り高さの確認
 - 0~10ミリ以上、10ミリ以上の場合は床仕上げ後にカットする。
 - ※既設配管内の汚れにAPH-26/500尿石除去剤をお勧めします。
- ② オーバーフロー排水管の配管を行ってください。VU40又はVP30
- ③ 給水管位置の確認をしてください。

4. 床と腰壁の張り替え

下地、仕上材を張ってください。



立ち上がり、真直に立ち上げる。斜めに取り付くと臭気漏れの原因となります。



副木等で固定します。

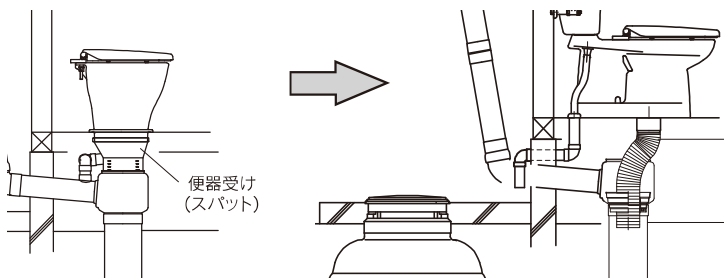
2-5 既設の洋式非水洗便器を取り替える場合

1. 既設便器の撤去

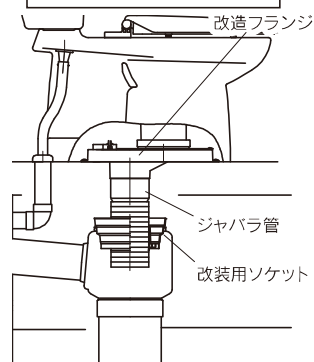
- ① 便器を取り外してください。
- ② 便器受け(スパット)を取り外してください。

2. 汚水配管

改装部品ジャバラセットB又は改装部品ジャバラセットCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。
改造フランジと併用することで偏芯量が少なくなり施工しやすくなります。

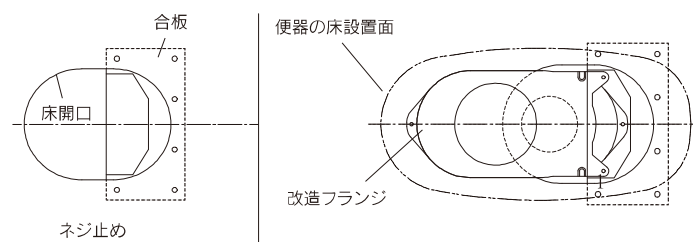


改造フランジと併用

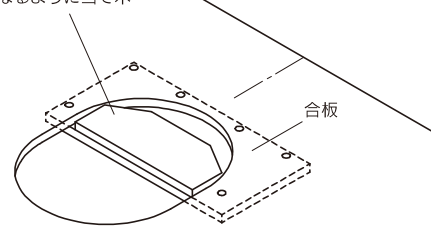


3. 床の工事

床の撤去、張り替えを行ってください。
又は、FZ500は、洋式非水洗便器の床開口が便器内に隠れます。
床開口の位置によっては、改造フランジを使えば床工事が不要になります。
但し、フランジを床に固定するための合板を取り付けてください。



床仕上り面と同じ高さになるように当て木



2-6 既設の和式非水洗便器を取り替える場合

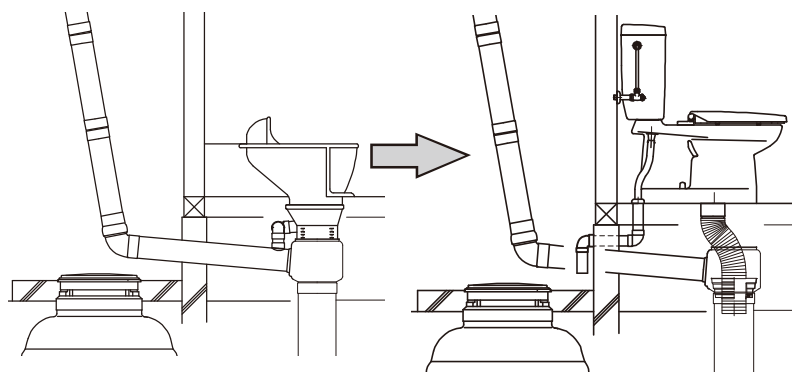
1. 既設便器の撤去

- ① 便器を取り外してください。
- ② 便器受け(スパット)を取り外してください。

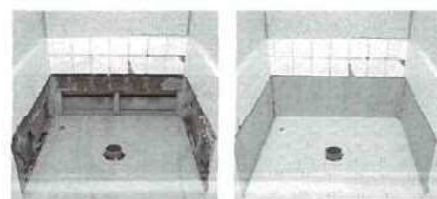
2. 床と腰壁を撤去してください。

3. 給排水配管

- ① 汚水配管
改装部品ジャバラセットB又はCを使って無臭便槽配管と床フランジを接続してください。
改造フランジと併用することで偏芯量が少なくなり施工しやすくなります。
- ② オーバーフロー排水管の配管を行ってください。VU40又はVP30
- ③ 給水配管を行ってください。



4. 床と腰壁の張り替え 下地、仕上材を張ってください。



3

オーバーフロー排水管の位置決め

該当する手順に沿って、オーバーフロー排水管の位置を決めて施工してください。

3-1

既設の簡易水洗便器を取り替え

オーバーフロー排水管の位置がそのまま施工できる場合

オーバーフロー排水管の位置を確認してください。

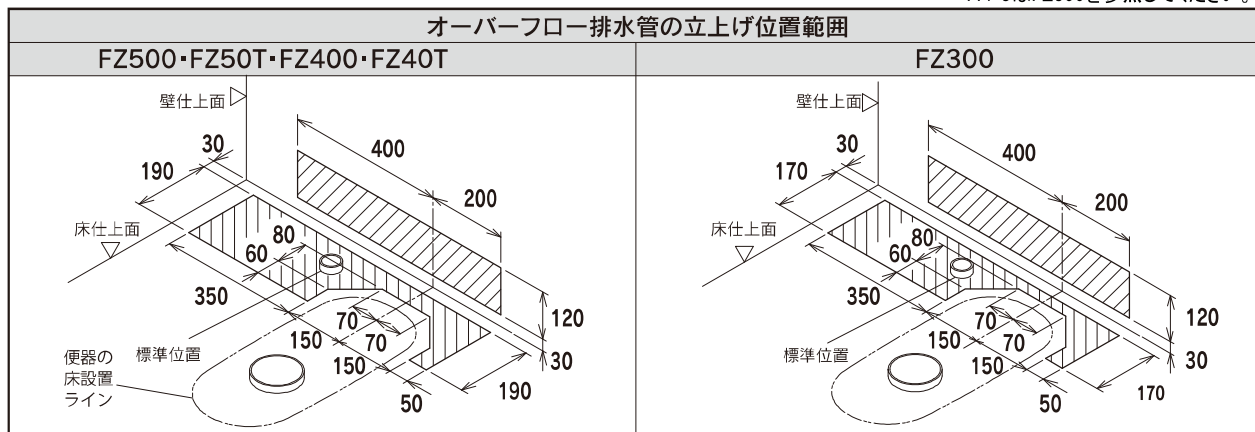
下図の斜線部の範囲内にオーバーフロー排水管の中心があれば、**そのまま施工できます。**

オーバーフロー排水管:塩ビ管VU40(外径φ48 内径φ44)又はVP30(外径φ38 内径φ31)

FA-5・FA-5TはFZ500

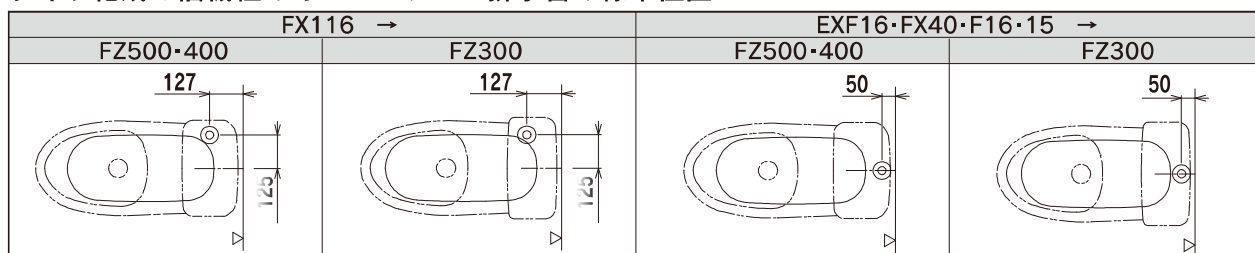
FA-4・FA-4TはFZ400

FA-3はFZ300を参照してください。



既設のオーバーフロー排水管の塩ビ管サイズが、VP25(外径φ32 内径φ25)やVP20(外径φ26 内径φ20)のとき、付属の接続パイプで施工してください。

ダイワ化成の旧機種種のオーバーフロー排水管の標準位置



FA-5・FA-5TはFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400、FA-3はFZ300を参照してください。

3-2

既設の簡易水洗便器を取り替え

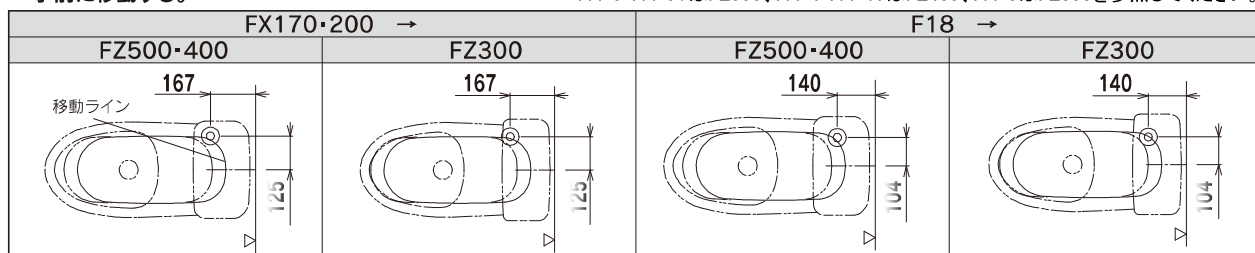
オーバーフロー排水管の位置が合わない場合

下記のいずれかを選定してください。

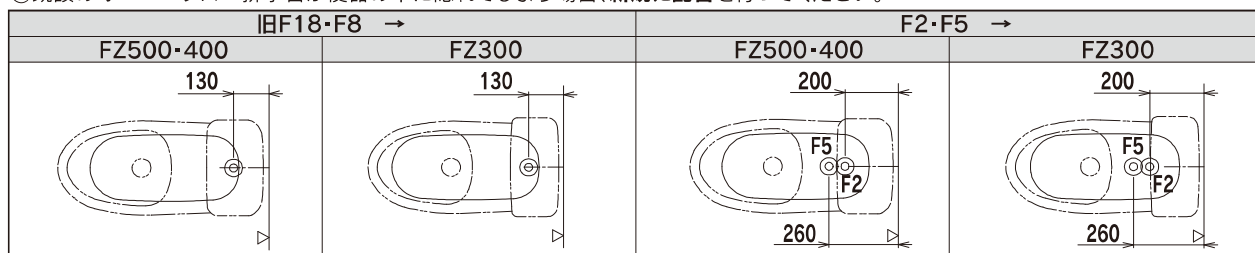
①既設のオーバーフロー排水管壁が便器に当たる場合、「改造フランジ」を使って便器を

手前に移動する。

FA-5・FA-5TはFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400、FA-3はFZ300を参照してください。



②既設のオーバーフロー排水管が便器の中に隠れてしまう場合、**新規に配管を行ってください。**



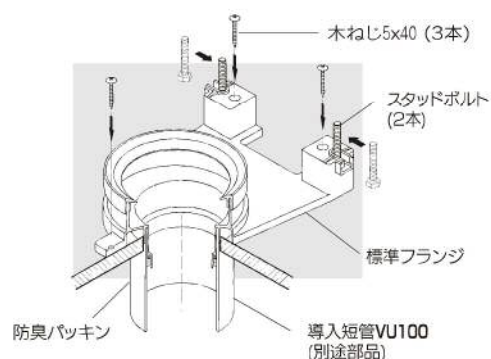
FA-5・FA-5TはFZ500、FA-4・FA-4TはFZ400、FA-3はFZ300を参照してください。

4

床フランジの取付

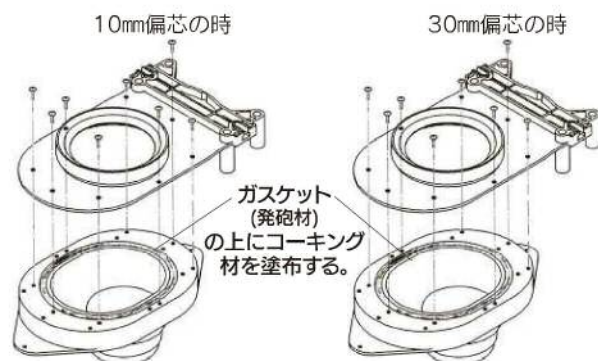
標準フランジ又は改造フランジを床に取り付けてください。

標準フランジ



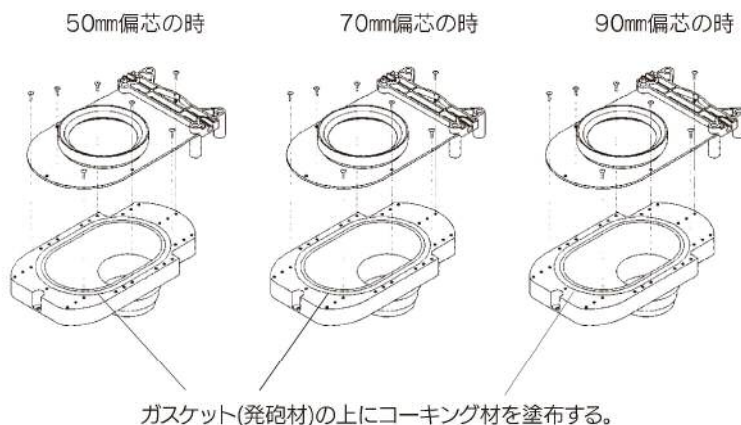
改造フランジ13 品番:APH-Z80

改造フランジの偏芯量を決めてください。
偏芯量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材 (シリコンシーラント) を充填してからネジを止めてください。
床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。



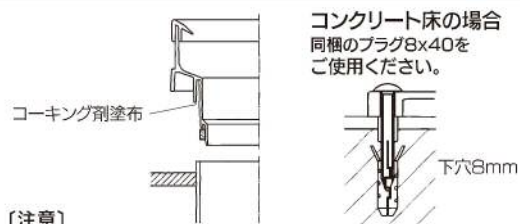
改造フランジ579 品番:APH-Z81

改造フランジの偏芯量を決めてください。
偏芯量を決めた後、漏水防止として、フランジ上と下の間にコーキング材 (シリコンシーラント) を充填してからネジを止めてください。
床の平面が出ていないときフランジが反って漏水する恐れがあります。



注) 改造フランジ579は、改造フランジ13のように反転できません。

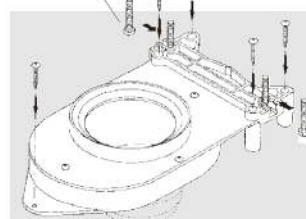
共通事項



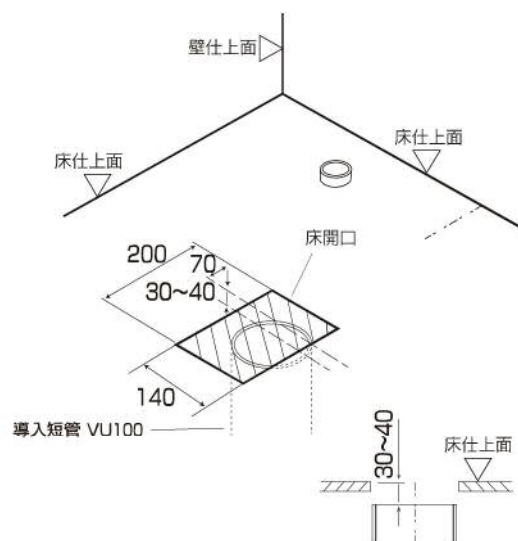
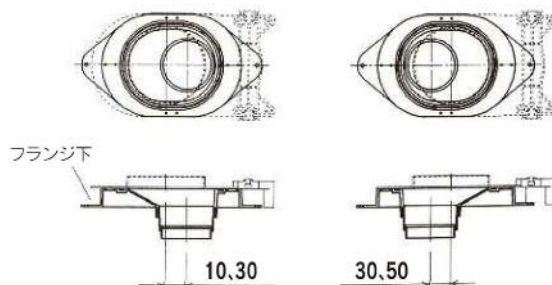
〔注意〕

- ・フランジの取付向きにご注意ください。
- ・フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。不十分だと臭気漏れの原因となります。

スタッドボルト(2本) 木ねじ5x40 (5本)



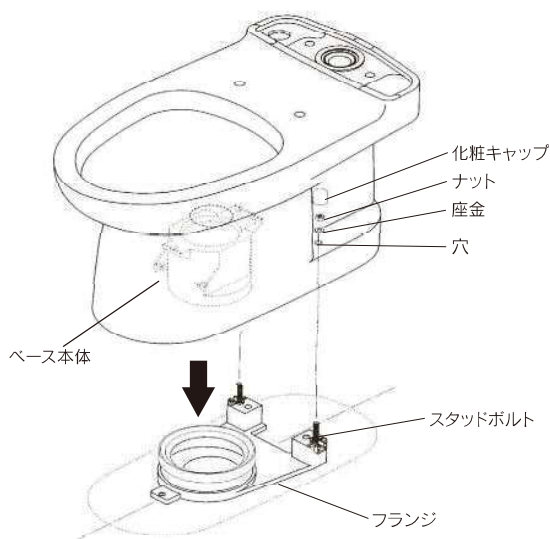
改造フランジ13は、フランジ下を反転すれば逆方向にも偏芯できます。



5

便器本体の据付

スタッドボルトと穴を合わせながらベース本体をフランジの中に差し込みます。
便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。



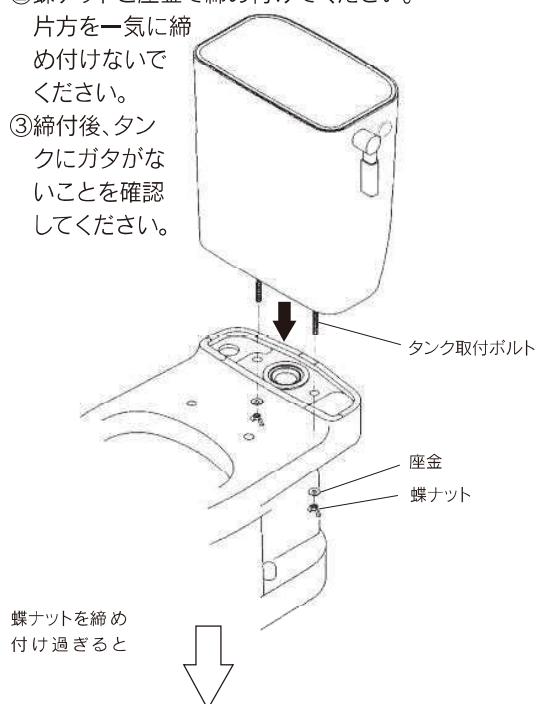
〔注意〕

- ・ ベース本体を確実にフランジに差し込んでください。
不十分ですと臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
- ・ ベース本体とフランジを接着したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
メンテナンスができなくなります。
- ・ ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。
陶器が割れる恐れがあります。

6

ロータンクの取付

- ①便器にタンクをのせてください。
- ②蝶ナットと座金で締め付けてください。
片方を一気に締め付けしないでください。
- ③締め付後、タンクにガタがないことを確認してください。

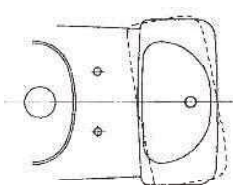


〔注意〕

- ・ タンクの締め付けは、ロータンクを軽く動かしてガタツキがなくなるまで締め付けてください。締め付けが弱いと漏水して床を濡らす原因となります。
- ・ 必要以上に締め付け過ぎると、陶器が割れますのでご注意ください。
- ・ ロータンクの取付ボルトを便器に差し込むとき、ボルトを便器に当てないようにゆっくりと差し込んでください。
陶器が破損する恐れがあります。

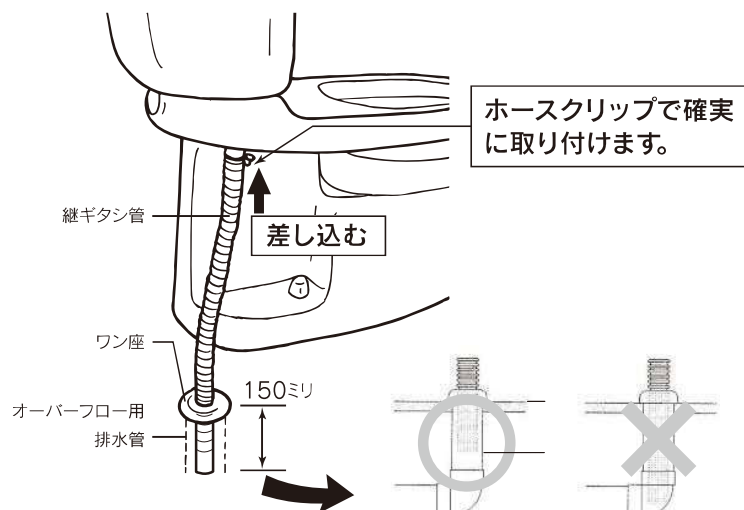
〔注意〕 FZ300

- ・ 取付後、必ずフタにガタツキがないことを確認してください。
蝶ナットの締め付け過ぎによってタンクがゆがみ、フタが合いません。

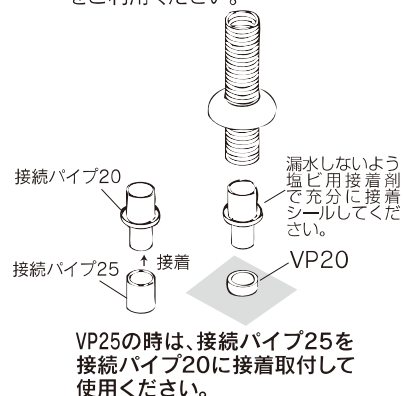


7 オーバーフロー管の接続

継ギタシ管を便器に差し込み、ホースクリップで止めてください。
次に、継ギタシ管を必要な長さに切断し、ワン座を入れて、オーバーフロー排水管に差し込んでください。



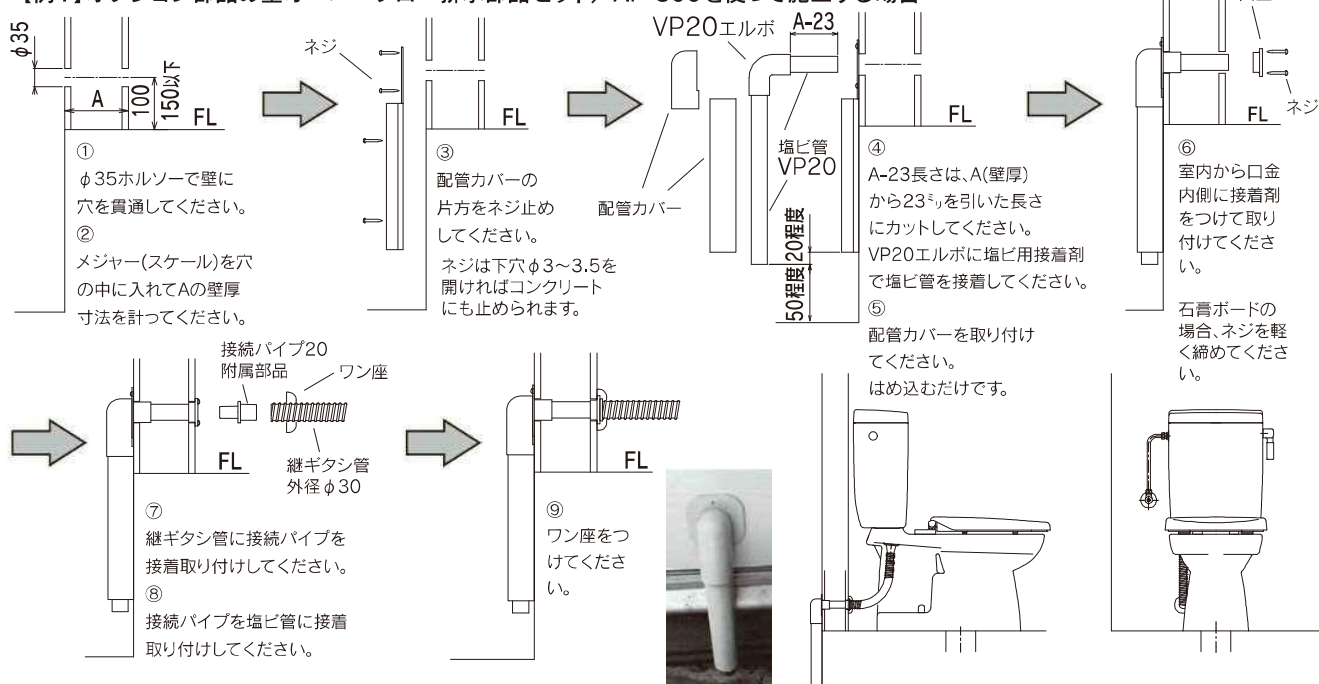
■ 既設のオーバーフロー排水管がVP20又はVP25で配管されている場合、附属部品の接続パイプをご利用ください。



壁にオーバーフロー排水管を新設する場合

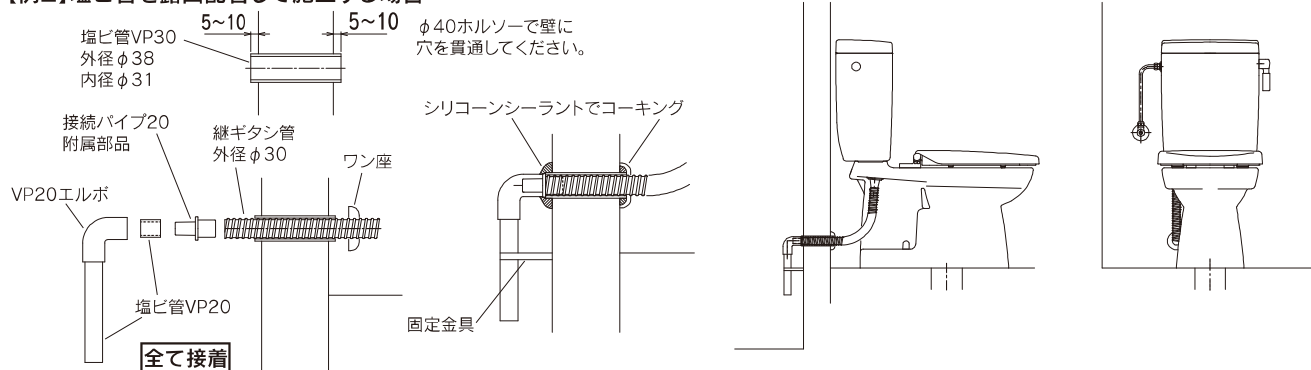
既設のオーバーフロー排水管が使えないとき、屋外に面した壁に設けてください。オーバーフローの内径は、約φ20以上が必要です。

【例1】オプション部品の壁オーバーフロー排水部品セット/AP-800を使って施工する場合



注) 漏水検査を行ってください。

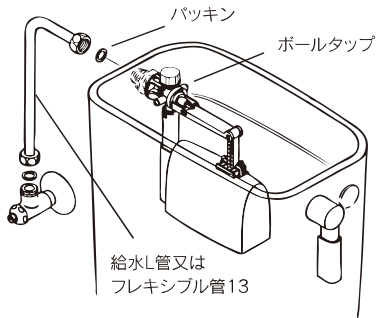
【例2】塩ビ管を露出配管して施工する場合



8

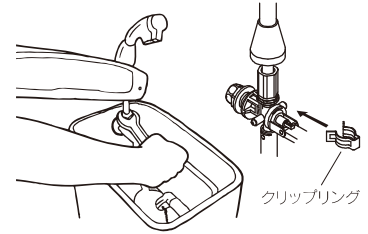
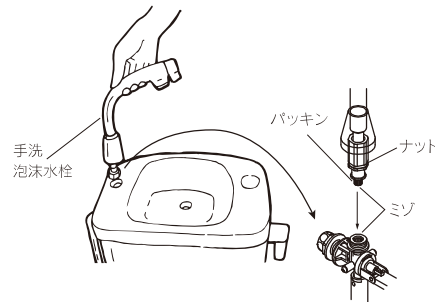
給水管の接続

アングル止水栓を取り付け、給水管をボールタップに接続してください。



手洗泡沫水栓付の場合

ロータンクのフタをかぶせ、吐水の方向がフタの中央になるようにミゾを合わせます。
フタを持ち上げナットを締め付けてください。



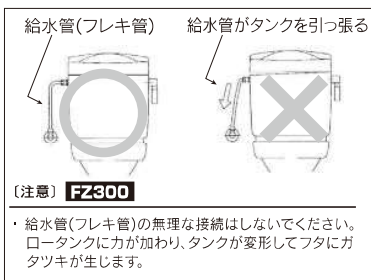
〔注意〕

ボールタップの取付けは、真っ直ぐになるようにしてください。給水管の袋ナットを締め付けるとき、ボールタップが共回りしないようにしてください。
共回りすると、ボールタップの浮玉がロータンクの壁に当たって動かなくなり、水が出放しとなります。
また、真っ直ぐに取り付けしないと、チェーンに引掛ったり、ボールタップ作動不良の原因となり、水が出放しとなります。オーバーフローしきれないときは、ロータンクから水があふれて床が水浸しになります。

ボールタップ取り付け上の注意

ボールタップを右給水にする時や外して再度取り付ける時、必ず、**ロータンクの水がない状態**で行ってください。

ロータンクに水がある状態でボールタップを斜めにして浮玉(フロート)の中に水が入るように取り付けると、止水しなくなりオーバーフローしてしまいます。

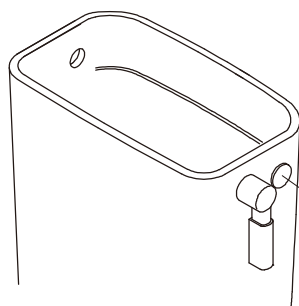
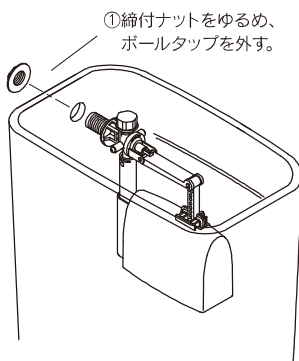


〔注意〕 FZ300

・給水管(フレキ管)の無理な接続はしないでください。ロータンクに力が加わり、タンクが変形してフタにガタツキが生じます。

右給水の場合

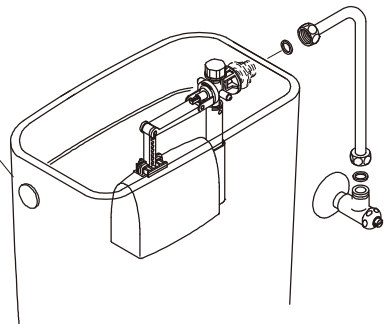
製品出荷状態は、左給水です。
ボールタップを右に付け替えることで右給水にできます。



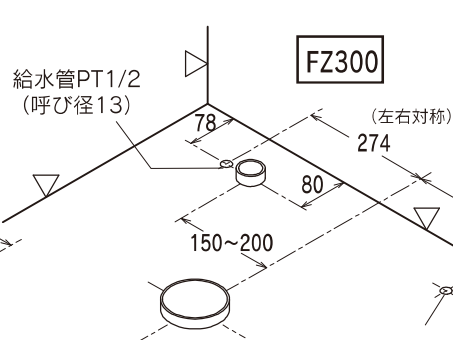
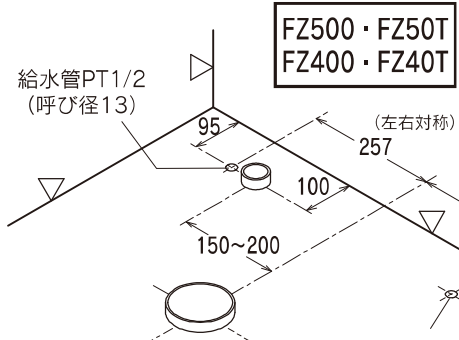
④メクラ栓を反対の穴に取り付ける。

②メクラ栓を外す。

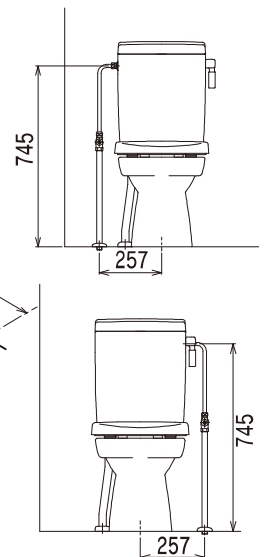
③右の穴にボールタップを差し込み、締付ナットを締めて固定する。



床給水の場合



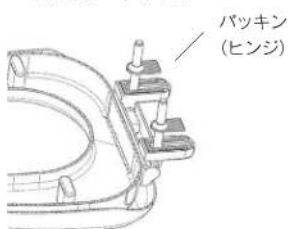
FA-5・FA-5TはFZ500
FA-4・FA-4TはFZ400
FA-3はFZ300を参照してください。



9 普通便座・暖房便座の取付

1便座の取り付け

スタンダードサイズ

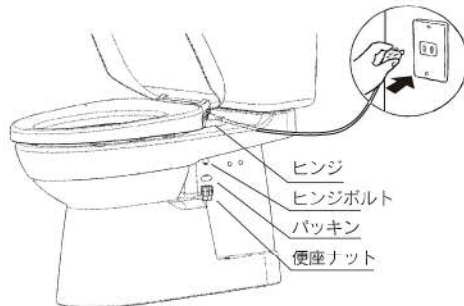
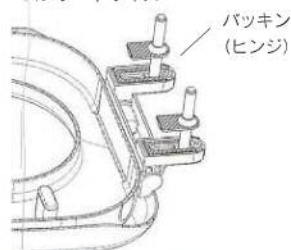


- ①エロンゲートサイズのときはバックキン(ヒンジ)の向きを180度変えてください。
 - ②バックキン(ヒンジ)とヒンジの凹凸を合わせてください。
 - ③便器の便座取付穴にボルト部を差し込んでください。
 - ④下からバックキンを入れ、便座ナットで締め付けてください。
- ※締め付けは、スパナ(19)でヒンジが動かない程度に締めてください。
- スタンダードサイズ (FZ300・FZ400・FZ40T・F8DG・F8CFG)
エロンゲートサイズ (FZ500・FZ50T)

2電源プラグを差し込む

⚠ 警告 (SW-7のみ) 交流100 Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

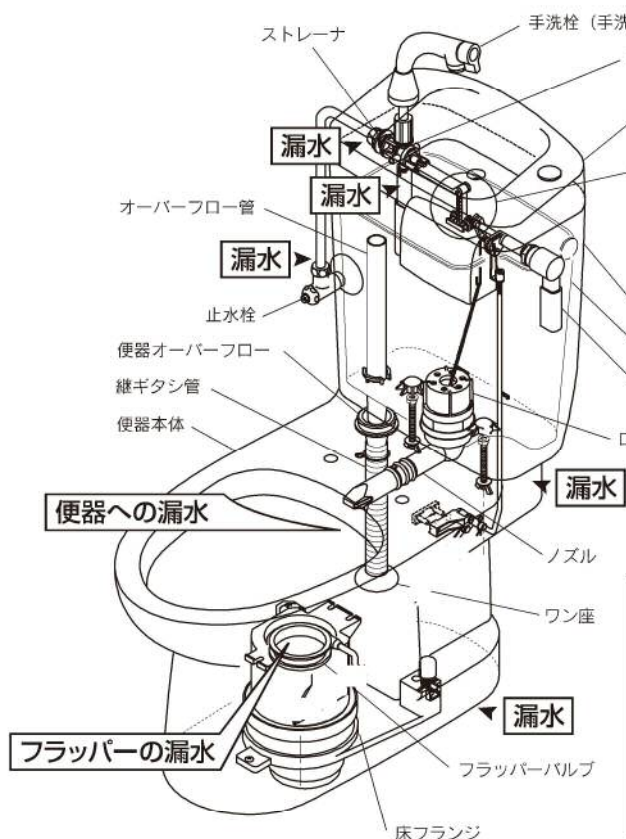
エロンゲートサイズ



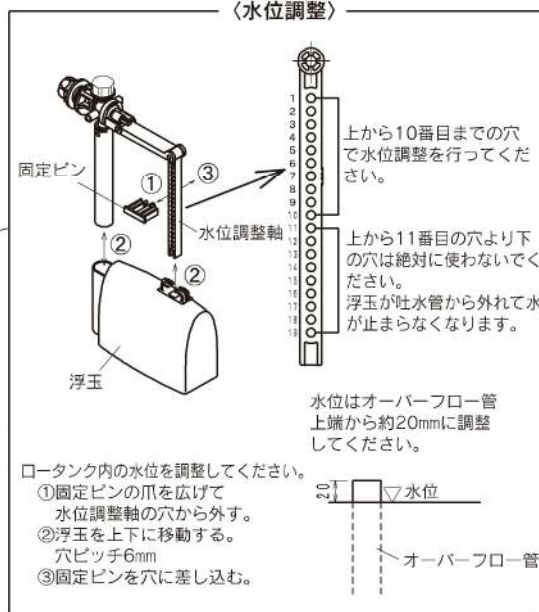
温水洗浄便座の場合は、製品についている説明書を読んで取り付けてください。

10 調整と点検

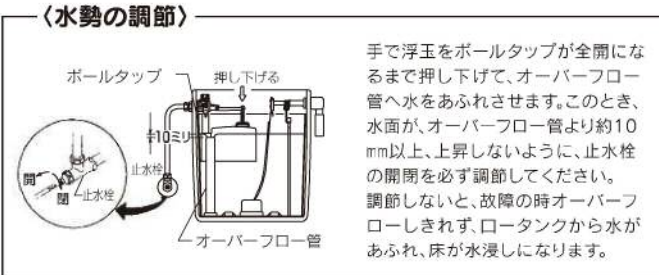
ボールタップの水位調整、止水栓でボールタップの水勢調整を行ってください。レバーハンドルを操作し、フラッパーの開閉や洗浄水の流れ状態、各部の漏水の有無を点検してください。



〈水位調整〉



〈水勢の調節〉



工事完了後

取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。

保証書は必要事項を記入してお渡しください。



Daiwa Kasei

タイワ化成株式会社

本社 東京都 福岡市中央区白鳥1-13-1 DKビル

〒810-0012 TEL092(521)1800

工場 福岡県太宰府市大字北台1123

〒818-0114 TEL092(921)7888